

## 平成23年度当初予算案概要

仙 台 市

財政状況が厳しさを増す中でも、「未来への希望をつなぐ変革元年」として、市民・地域・都市の三つの「希望」につながる施策に重点的に対応

## 全体予算規模

	平成22年度	平成23年度	増減額	増減率
一般会計	4,420億6,600万円	4,411億5,600万円	9億1,000万円	0.2%
特別会計	2,719億1,322万円	2,735億2,522万円	16億1,200万円	0.6%
企業会計	2,271億9,400万円	2,401億9,576万円	130億176万円	5.7%
合計	9,411億7,322万円	9,548億7,698万円	137億376万円	1.5%

## 新規・拡充事業

仙台のまち全体が元気になるよう、「市民の希望を広げるための取り組み」・「地域の希望を育むための取り組み」・「仙台の希望を拓く魅力創出の取り組み」を進めるため、これらの取り組みを実現するための6つの施策の柱に基づき、各般の新規・拡充事業を推進する。新規・拡充事業数は153件、当該事業費総額は135億円（うち一般財源は81億円）。

## 重点的に取り組む主な事業（企業会計の事業を含む）

## 学びや楽しみを多様な創造につなげる都市づくり

- ・ミュージアム都市推進 [2億5,155万円]

市民協働によりミュージアムの素材となりうる資源の創出と情報の発信、多様な学びの拠点の充実、学びを楽しむことのできる環境整備、市民の気運の醸成などを総合的に推進する。

- ・泉岳少年自然の家改築事業 [14億8,370万円]

学校教育の支援を中心とした生涯学習施設としての機能を充実させる。

- ・中学校区・学びの連携モデル [463万円]

協働型学校評価、学校支援地域本部、自分づくり教育や、新たに実施する中1ソフトランディング・プログラムなどの各種教育施策を有機的に関連づけ、中学校区ごとに小・中学校が連携し家庭・地域と一体となって9年間を通してたくましい子どもを育成する。

## 健康で安全に安心して暮らすことができるまちづくり

- ・市民健康づくり推進 [2億2,179万円]

市民や関係機関、事業所等と連携し、生活習慣病予防など市民の生涯にわたる健康づくりを推進する。

- ・百万市民の健康づくりと地域医療体制の確保 [67億2,178万円]

総合健康診査等の充実や子宮頸がん等ワクチンの接種促進のほか、高齢者肺炎球菌予防接

種の対象年齢を現行の「75歳以上」から「70歳以上」に拡大する。

- ・市立病院移転新築 [ 97 億 8,566 万円 ]

宮城県沖地震等災害発生時に災害拠点病院として十分に機能するための耐震性などを備えた病院の建設を進める。

- ・宮城県沖地震災害対策 [ 4,721 万円 ]

自主防災組織が災害時に機能し、住民の安全が確保されるよう、地域防災リーダーを養成する。

### **共に生き自立できる社会づくり**

- ・男女共同参画の総合的推進 [ 6 億 5,614 万円 ]

平成 24 年度に予定している「日本女性会議」の開催に向けた取り組みを進める。

- ・すこやか子育てプラン推進事業 [ 322 億 8,733 万円 ]

一定の自己負担を導入しつつ、乳幼児医療費助成の助成対象年齢を、入院は中学 3 年生、通院は小学 3 年生までに拡大する。

- ・幼保共存プロジェクト等待機児童対策 [ 20 億 1,346 万円 ]

3 歳未満児を中心とする保育需要に対応していくため、これまでの認可保育所、せんだい保育室、家庭保育福祉員の定員をそれぞれ拡充するほか、私立幼稚園の 3 歳未満児専用認可保育所創設に対する整備費補助制度を新設する。

### **自然と調和し持続可能な環境都市づくり**

- ・低炭素都市づくり推進 [ 1 億 1,319 万円 ]

地球温暖化の抑制に向け、市民、事業者などと連携協力しながら、省エネ・省資源の活動に取り組む新たな運動の展開を図る。

### **魅力的で暮らしやすい都市づくり**

- ・機能集約型市街地の形成 [ 1 億 3,684 万円 ]

仙台駅西口駅前広場の再整備や仙台駅東西連絡自由通路の架け替えを推進することにより、仙台駅周辺地区における交通結節機能の強化を図り、杜の都のシンボルロードとして、青葉通の再整備を進める。

- ・地下鉄東西線建設 [ 349 億 9,630 万円 ]

平成 27 年度の開業に向けて、事業の一層の本格化を図る。

- ・東西線沿線まちづくり推進 [ 3 億 2,333 万円 ]

地下鉄東西線の駅周辺地区において、沿線地域の多様な資源を生かしたまちづくりを市民協働により取り組む。

### **成熟社会にふさわしい魅力・活力づくり**

- ・観光振興 [ 5 億 7,481 万円 ]

仙台・宮城「伊達な旅」キャンペーンや海外での外国人観光客誘客のためのプロモーションなどを実施する。

- ・中心部商店街活性化等促進 [ 1 億 264 万円 ]

イベントの集中する時期に観光客等に各種案内などを行うコンシェルジュ事業を実施するほか、年間を通じたまちの魅力づくりや賑わい創出のための実証事業を展開する。

- ・農商工連携推進 [ 8,216 万円 ]

農商工連携に係る優れた事業への商品化支援や販売支援、6 次産業化モデルの促進を図る。

### **未来に責任を持つ確かな都市経営の仕組みづくり**

新総合計画の推進 [ 1,601 万円 ] 市民協働による地域づくりの推進 [ 1 億 446 万円 ]

歳入の確保 [ 7 億 787 万円 ] 公共施設の経営改革 [ 1,582 万円 ]

## 財政健全化

### 1 収支不足圧縮と財源対策

事務事業見直し等により収支不足の圧縮に努めたものの、最終的な不足額 233 億円に対し、財政調整基金からの繰入 169 億円のほか、前年度に引き続き、退職手当債 15 億円や行政改革推進債 12 億円の発行、保有株式の売却益 20 億円の計上などの財源対策を行った。

### 2 通常債<sup>#</sup>残高の縮減（普通会計ベース）

普通会計における市債のうち通常債の発行額は、普通建設事業の厳選・重点化を図ったことにより、平成 23 年度の元金償還予定額を下回り、平成 23 年度末の通常債残高は前年度比で 109 億円減となる見込み。

<sup>#</sup>通常債...臨時財政対策債等の特別な市債を除く建設事業等のための市債のうち、高速鉄道建設基金により返済のための財源が手当てされる地下鉄東西線出資・補助金債を除いた市債

### 3 基礎的財政収支（プライマリーバランス）の均衡・黒字の確保

平成 23 年度当初予算における基礎的財政収支は、65 億円の赤字となる見込み。  
決算時には黒字となるよう、予算執行の段階において経費縮減に努める。

### 4 人件費<sup>#</sup>の総額抑制

人員削減等により、人件費総額は前年度比で 12 億円減となった。

<sup>#</sup>一般会計における人件費

## 一般財源の状況

主要一般財源（市税、地方交付税、臨時財政対策債等）は、2,387 億円（前年度比 + 32 億円、+ 1.4%）

- ・市税...1,714 億円（前年度比 + 30 億円、+ 1.8%）
- ・地方譲与税・県税交付金等...227 億円（前年度比 + 2 億円、+ 0.9%）
- ・地方交付税...228 億円（前年度比 + 2 億円、+ 1.1%）
- ・臨時財政対策債...218 億円（前年度比 2 億円、0.9%）

財政調整基金繰入は、189 億円（前年度比 + 61 億円、+ 47.6%）